

平成 27 年 2 月 10 日

十和田市長 小山田 久 様

十和田市行政改革推進懇談会

座長 櫻田 一雅

平成 26 年度事務事業評価外部評価について（報告）

十和田市行政改革推進懇談会は、その下部組織である外部評価専門部会において、平成 26 年度の事務事業評価対象事業の中で、外部評価の対象となった 4 事業について担当課から説明を求め、第三者の視点から評価・検証を行いました。

その結果を別紙のとおり報告します。

貴職におかれましては、この報告書の内容を行政改革の観点から十分に検討し、今後の事務事業の改善に活用されることを期待します。

平成 26 年度
十和田市事務事業評価外部評価報告書

平成 27 年 2 月

十和田市行政改革推進懇談会

目 次

1. 十和田市事務事業評価の概要	p1
2. 外部評価専門部会の役割.....	p1
3. 評価対象	p1
4. 評価方法	p2
5. 評価結果	p3
(1) 老人クラブ活動支援	
(2) 包括的支援事業	
(3) 農畜産物のブランド化	
(4) 中心市街地活性化事業	

(参考資料)

1. 平成 26 年度 十和田市行政改革推進懇談会 委員名簿
2. 平成 26 年度 十和田市事務事業評価内部評価対象事業一覧

1. 十和田市事務事業評価の概要

十和田市では、十和田市総合計画に掲げる「感動・創造都市～人が輝き 自然が輝き まちの個性が輝く理想郷～」の実現に向けて各種事業を展開している。同時に、厳しい財政状況の中で地域社会の健全な発展を目指し、簡素で効率的な行政運営を図るため、行政改革に努め、事務事業評価を実施している。

十和田市の事務事業評価は、平成 23 年度から外部評価を取り入れ、評価の客観性、信頼性及び透明性の向上と成果重視の市政運営を図っている。

平成 26 年度は、十和田市行政改革推進懇談会の下部組織で 6 名からなる外部評価専門部会において、市側選定の 2 事業・部会側選定の 2 事業の併せて 4 事業について、外部評価を実施した。

- 1 事務事業評価を実施することにより、事業のPDCAサイクルを確立し、①職員の事務事業に対する意識向上 ②効率的で質の高い行政 ③市民の視点に立った成果重視の行政 ④市民への説明責任の徹底 を図る。
- 2 平成22年度に試行を実施。平成23年度が本格導入初年度。

評価対象事務

十和田市の将来像「感動・創造都市～人が輝き 自然が輝き まちの個性が輝く理想郷」実現のため、「選択と集中」の視点のもと市として重点的に取り組む事業を取りまとめた「第1次十和田市総合計画 第2期実施計画」掲載事業(内部管理事務、定型事務等を除く。)を対象とし、効果的かつ効率的な施策展開を図る。

外部評価について

目的: 第三者の視点で事務事業を点検・検証し、評価内容の客観性及び信頼性を確保し、成果重視の市政運営を図る。
対象事務: 内部評価を行った事務事業の中から、市の裁量が限定されている法定事務や内部管理事務等を除き、第三者の視点から評価を行うことが有意義であると考えられる事業を対象とする。
評価結果の取扱: 十和田市行政改革推進懇談会の結果を踏まえ、事業担当部署において必要な見直しを行う。



図 1. 十和田市事務事業評価の概要

2. 外部評価専門部会の役割

十和田市行政改革推進懇談会は、平成 22 年 3 月に策定した第 2 次十和田市行政改革大綱及び同実施計画の進行管理を行うとともに、平成 27 年度から平成 31 年度までを計画期間とする第 3 次十和田市行政改革大綱及び同実施計画の策定を担っている。

平成 24 年度から、事業の関連性が高い行政改革と事務事業評価を連携させ、この懇談会の下部組織である外部評価専門部会において、事務事業の外部評価を実施している。

事務事業の外部評価については、担当課において実施した内部評価について第三者の視点から評価・検証を行い、評価対象事業の今後の方向性について検討を行うものである。

3. 評価対象

平成 26 年度は、十和田市総合計画実施計画に掲載されている事務事業の中で、106 の事務事業について担当課による内部評価が実施された。

その中で、第三者の視点から評価を行うことが有意義と考えられる下記の事務事業について外部評価を行った。

【外部評価対象事務事業】

- (1) 老人クラブ活動支援 (高齢介護課)
- (2) 包括的支援事業 (高齢介護課)
- (3) 農畜産物のブランド化 (とわだ産品販売戦略課)
- (4) 中心市街地活性化事業 (商工労政課)

4. 評価方法

事前に配布された評価資料に基づき、担当課から説明を求め、質疑応答を行った。そして、次回の会議において、各委員による判定を行った。そして、これらの意見を部会としての評価結果とし、懇談会に報告した。

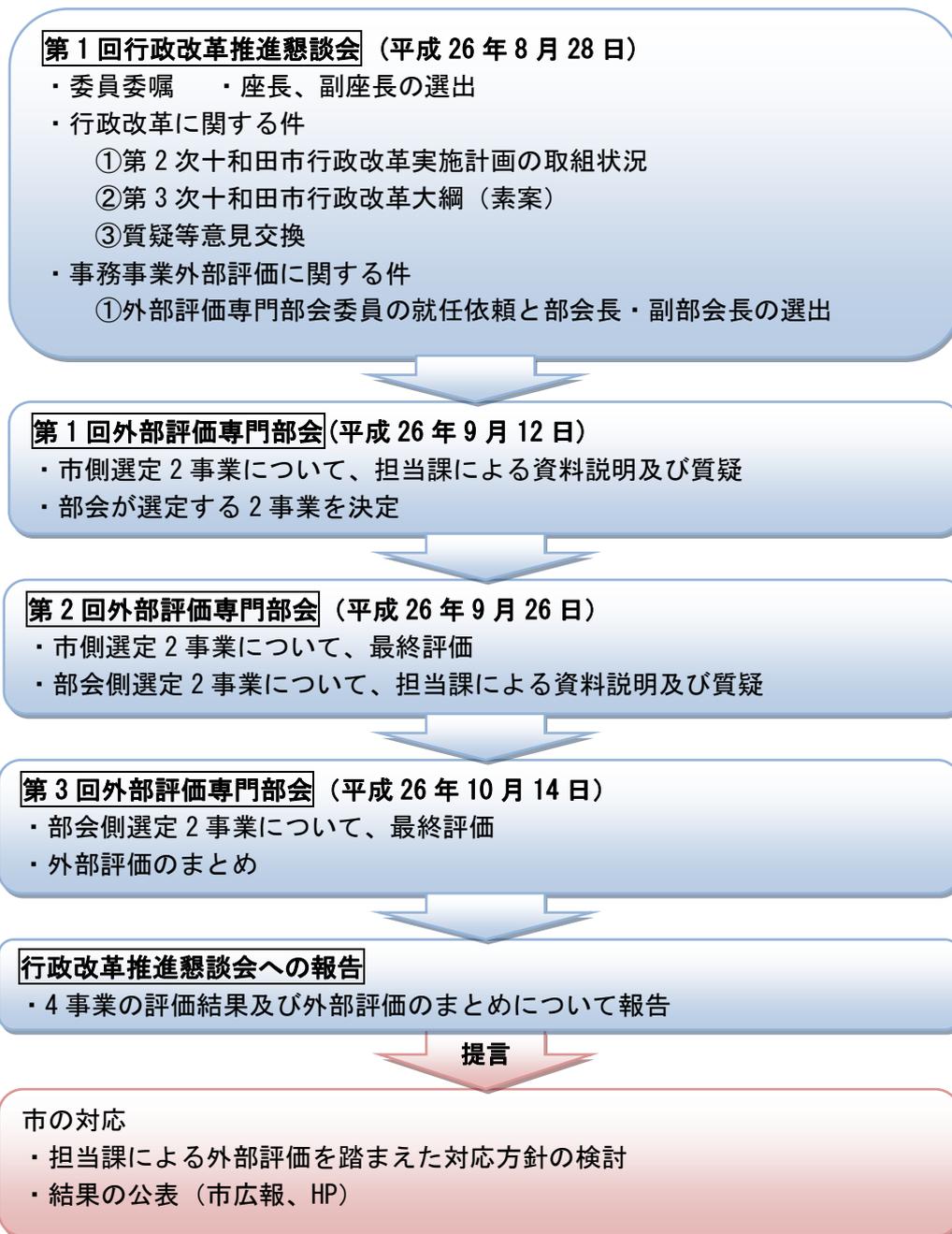


図2. 十和田市事務事業評価作業フロー

5. 評価結果

(1) 老人クラブ活動支援

評価項目	指摘事項
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・目的が明確であり、事業としては妥当性が高い。 ・今後においても高齢化社会が進んでいくと思うので、その時代時代のニーズに合った対応が必要と思う。また、市の職員が担当をした方がよいのか、指定管理をした方がよいのか今後の課題と考える。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・60団体、1,800余名への支援活動であり、事業自体の有効性は高い。 ・社会参加や介護予防、さらには生きがいづくりにもつながっており、有効性は高い。 ・現状の老人クラブ活動をしっかり分析し、シニア資源の有効活用・人材発掘・技能伝授など、新たな活動分野を検討してほしい。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・経年事業として継続され、その効率も悪くない。しかし、利用者の高齢化などクラブ活動自体の活性度がわかる指標がないのは、今後の検討課題である。 ・自主的活動をされているので効率の良い事業だと考える。
公平性	<ul style="list-style-type: none"> ・支援可能なクラブの範囲に関する規定などは再検討の余地も残るが、市の65歳以上人口が18,000人強、その10%の1,800余名への活動支援となっており、公平性は担保されている。 ・老人クラブの意義や必要性については全市的に広報等でPRされており、問題はないと思われる。
事業の方向性	<p>現状のまま継続 1人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会を考えると、現状のままの活動でよいと思う。 <p>有効性を改善して継続 1人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シニア資源の有効活用の方策を探って、成果向上を目指す。 <p>効率性を改善して継続 1人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一律支援を維持しつつ、評価に基づく支援を強化する。 <p>事務事業の統廃合を図る 1人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本中で高齢化が進んでいるので、事業の内容を考えたらいいと思う。
その他ご意見ご指摘	<ul style="list-style-type: none"> ・今の60歳は若者に負けない気持ちがあり、60歳からの加入は厳しいと思う。活動の単位を年代ごとに区分けするなど、考え方の再構築が必要ではないか。 ・普段の自主的活動（美化活動や親睦会など）のほか、町内会や他団体と連携した事業を実施できるよう期待する。 ・年代ごとで活動することも必要ではないか。考え、体力等近いほうが、活動がスムーズにいくと思う。

(2) 包括的支援事業

評価項目	指摘事項
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・目的が明確であり、事業としては妥当性が高い。 ・高齢社会が進んでいる中においては、ニーズにあった事業だと思う。特に、一人暮らしの人にとってはとても力になる事業であろう。 ・法律に基づく支援事業であり、総合的な相談支援体制は必要である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・センターへの相談件数からも、有効性は極めて高い。 ・活動指標や成果指標が示しているとおりの100%に近い数字となっており、事業としては良いと思う。また、高齢者が増加していることから、相談できる場所の増設あるいは体制をもう少し考えてもいいのではないかと感じる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果を考えた場合、他の関係団体との連携などで、コスト削減が出来るかどうか、その辺をうまくやったらもう少し効率の良い事業となるのではないかと。 ・行政の負担軽減のため包括支援センターを民間事業者へシフトするとともに、抱え込みの防止策として、1センターを複数事業者で運営しつつ行政が管理監督を行うなど、効率化が急がれると思う。
公平性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の公平性は、その事業の性格からも、自明である。 ・PR活動がうまくいっているようなので良いと思う。 ・チラシや広報、出前講座など様々な機会をとらえ市民に周知しており、公平性には問題はないと思われる。
事業の方向性	<p>有効性を改善して継続 2人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援体制の強化による成果向上を望む。 ・高齢者が増えることによる相談場所の増設と体制を考えながらの事業推進をお願いしたい。 <p>効率性を改善して継続 1人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コスト削減と効率性・公平性の向上のため、民間移譲による支援体制の早急な構築を求める。 <p>事務事業の統廃合を図る 1人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後ますます相談件数が増えると思う。現在、旧十和田湖町に事務局があるとのことだが、時間を大切に相談者にも負担をかけないようにすることも大切だと思う。
その他 ご意見 ご指摘	<ul style="list-style-type: none"> ・市全体として7か所で実施されているが、全市的に網羅されているかは疑問。今後ますます一人暮らしや高齢者世帯、認知症が増えていくと予想されることから、民間での事業拡大など積極的な取り組みと体制づくりが急務である。 ・多忙な業務であることは説明を受けて理解できたが、その多忙さを知ってもらうための資料提供が手である。データ分析を行い、そこから読み解ける問題を提示することが必要である。

(3) 農畜産物のブランド化

評価項目	指摘事項
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・十和田市産農畜産物をブランド化するための事業として、目的は明確であるが方法論が多様で、その取組み自体は難しい課題である。 ・十和田市は農業が基幹産業である。主要4品目のブランド化は農家に限らず市民も長年望んでいることであり、市が本事業を推進していくことには問題がないと思われる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・農畜産物の生産高、販売総額は増加しており、この事業の追い風となり、意義はあるが、有効性の評価の再定義が必要。 ・大学、農協その他関連企業と強い連携を持ち、高めること。 ・県内、特に近隣市町村へ積極的に事業展開をしてはいかがか。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業成果と労力・費用とをどのように評価するか、を再定義する必要がある。 ・ブランド化は短時間でできるものではなく、試行錯誤を繰り返しながら、長年の積み重ね、継続が重要である。
公平性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の公平性を重視すると、有効性・効率性を考慮しない総花的な事業を組まざるを得ない。この点をどのように考えるか、事業の質を問う場合には再考する必要がある。
事業の方向性	<p>さらに重点化を図る 3人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十和田市農畜産物は、たいへん良いものがあるので、これまで以上にブランド化に向けて行ってほしい。ソムリエ協会・北里大学・三農との連携も図っていただきたいと思う。 ・農業は十和田の基幹産業であることには変わりなく、今後の農家の目標である若い人の流入を増やすためにも取組みを進めるべき。 ・ブランド化は長期間の継続が必要である。さらに市が他機関、団体等と連携を密にし、市の重点課題として取り組んでいくべきである。 <p>有効性を改善して継続 3人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に新しい事業の方法等を考えながら、ブランド化を推進していくことが重要と思う。 ・生産者、JA等ブランド化推進事業者とのさらなる連携を期待したい。 ・三農及び北里大学と連携し、有効性を高める。
その他ご意見ご指摘	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド化は大変な事業なので、市としてどこまでやるかのビジョンがしっかりしていないと、生産者に不安を持たせ続けることになる。 ・県内外の食品加工業者と連携し、主要4品目に付加価値を付けた加工品の開発も必要ではないか。 ・農業者の売り上げの増に繋がるように指導をしていく機関があれば、生産者の励みにもなるので、その辺の指導を一緒に出来るような工夫づくりもお願いしたいと思う。 ・事業者が数軒でまとまり、ミネラル野菜オーナーとして県内外から募集をして、種まきから収穫までの農業体験や野菜ソムリエの料理教室などの現地イベントを開くことで、受益の安定へつながると思う。

(4) 中心市街地活性化事業

評価項目	指摘事項
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所全体のまとめ役を担っている中で自課の担当事業のみを評価、ということに違和感を覚えた。他課の事業はそれぞれ高額であり、個別の事業ごとの評価もありかもしれない。いずれにせよ、目的の妥当性は認めるが、評価の在り方は、再考を要する。 ・市が積極的に関与し、活性化対策を推進すべきである。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の空きスペースを有効に使うために何か出来ないものか。難しいことだが、何とか推進して行けるように思う。 ・目標である中心市街地の居住人口増加のための施策等を進めているが、成果はあまり期待できないようであるが、継続して実施してほしい。 ・住所移転を条件に、大学生を中心街に居住をうながし、家賃補助をする。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地での生活者数の増加がそのエリアの経済活動にどのような影響を与えているか、その費用対効果の判定は難しい。事業の限界値（希望値）を設定するなどの評価指標も重要な課題となろう。
公平性	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅支援策などは、公平性という観点において、難しい判定が出る可能性を秘めた事業で、悪くは無いが、発展性はあるのか？という側面を持つことを意識して、この事業の再定義が望ましい。
事業の方向性	<p>さらに重点化を図る 1人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何とかハード事業を見つけながら、中心市街地の活性化に向けた取り組みをお願いしたいと思う。関係機関との連携も、大いにしていきたいと思う。 <p>有効性を改善して継続 5人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に前進あるのみの事業であり、有効性を点検評価し、継続する。 ・近隣市町村へイベントをPRし、十和田市を知っていただき、情報発信をしてもらう。 ・中心商店街への効果を目途に、居住人口増加策を考えてほしい。 ・行事のみでなく、日常生活に密着しての市街地の活用法を見出し、活性化につなげてほしい。 ・中心市街地の活性化は簡単にできるものではなく、市及び商店街との密接な連携が必要と思われる。市としての大胆な計画づくりと、にぎわいを取り戻せるような商店街づくりを期待したい。
その他ご意見ご指摘	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地居住への支援は、若い世帯にはありがたいが、公平性（市民周知の充実度）・透明性（支援効果の測定）という観点からは、難しい判定となる一面もあろう。 ・昼間人口の増加、という方針での事業展開も重要だと思われる。 ・十和田市は風水害がなく食べ物には不自由がなくとても住みやすい土地なので、その良さを大いにPRしてはどうか。私たちも他県出張の際、お話をする機会があればそのことを宣伝している。

参考資料 1

平成26年度十和田市行政改革推進懇談会委員名簿

	役職	氏 名	団体名及び役職名
①	座 長	櫻 田 一 雅	十和田商工会議所 専務理事
②	副座長	小 林 博 子	十和田市食生活改善推進員会 会長
③	委 員	高 井 伸 二	北里大学獣医学部 学部長
④	〃	立 崎 享 一	十和田市町内会連合会 副会長
5	〃	宮 腰 優 子	十和田市教育委員
⑥	〃	山 端 政 博	十和田市民活動ネットワーク 代表
7	〃	新屋敷 より子	十和田市農業委員
⑧	〃	江 渡 恵 美	十和田市社会福祉協議会 会長

*○付き数字の方は、外部評価専門部会の委員も兼ねる。

参考資料 2

平成 26 年度 十和田市事務事業評価内部評価対象事業一覧

No.	事業名	計画番号	所管部署
1	消防団活動の基盤整備	85	総務課
2	消防団屯所の整備	86	総務課
3	消防水利の整備	87	総務課
4	安全・安心メール配信システムの整備	88	総務課
5	職員人材育成実施計画の推進	156	人事課
6	人事評価システムの充実	157	人事課
7	予約式乗合タクシーの運行	17	政策財政課
8	税の徴収対策	160	収納課
9	国民健康保険事業	64	国民健康保険課
10	新渡戸友好都市交流委員会への支援	148	まちづくり支援課
11	多言語生活情報誌の発行	152	まちづくり支援課
12	民間団体の国際交流活動支援	153	まちづくり支援課
13	環境保全団体への支援	1	まちづくり支援課
14	資源再生利用事業	10	まちづくり支援課
15	廃棄物減量等推進員の委嘱	11	まちづくり支援課
16	公害防止対策	12	まちづくり支援課
17	生活環境情報の提供	13	まちづくり支援課
18	とわだエコ・オフィスプランへの取組み	14	まちづくり支援課
19	環境教育への取組	15	まちづくり支援課
20	外傷予防による安全安心なまちづくり	89	まちづくり支援課
21	交通安全対策事業	90	まちづくり支援課
22	防犯灯設置及び街路灯電気料等助成	91	まちづくり支援課
23	地域防犯活動への支援	92	まちづくり支援課
24	消費生活教育・啓発活動と消費生活相談	93	まちづくり支援課
25	元気な十和田市づくり市民活動応援事業	139	まちづくり支援課
26	集会所の建築等に対する助成	140	まちづくり支援課
27	市と町内会との懇談会の実施	144	まちづくり支援課
28	人権教育・啓発活動の推進	146	まちづくり支援課
29	人権擁護体制の充実	147	まちづくり支援課
30	福祉活動の促進	66	福祉課
31	特別保育事業	69	福祉課
32	放課後児童健全育成事業(仲よし会)	72	福祉課
33	十和田ファミリー・サポート・センター事業	73	福祉課
34	相談・指導体制の充実	76	福祉課
35	相談員の配置	83	福祉課

No.	事業名	計画番号	所管部署
36	母子家庭及び父子家庭に対する支援事業	84	福祉課
37	介護保険事業の充実	65	高齢介護課
38	老人クラブ活動支援	78	高齢介護課
39	介護予防事業	79	高齢介護課
40	指定介護予防支援事業	80	高齢介護課
41	包括的支援事業	82	高齢介護課
42	保健事業	58	健康増進課
43	こころの健康づくり事業	59	健康増進課
44	食育関連事業	60	健康増進課
45	妊婦委託健康診査事業	70	健康増進課
46	乳児家庭全戸訪問事業	71	健康増進課
47	定期予防接種事業	74	健康増進課
48	農畜産物等総合販売推進事業	95	とわだ産品販売戦略課
49	農畜産物のブランド化	96	とわだ産品販売戦略課
50	農畜産物加工施設整備	97	とわだ産品販売戦略課
51	米粉製品の開発・普及	98	とわだ産品販売戦略課
52	資源の回復	108	農林畜産課
53	十和田湖のヒメマスの安定供給	109	とわだ産品販売戦略課
54	農業用排水路・農道集落道等の整備	101	農林畜産課
55	十和田市高齢者等肉用牛導入事業	103	農林畜産課
56	アウトドア体験観光の環境整備	2	観光推進課
57	観光従事者の接遇研修	110	観光推進課
58	観光PR事業	111	観光推進課
59	エコツーリズムの推進	114	観光推進課
60	十和田湖休屋地区環境整備	117	観光推進課
61	十和田湖観光拠点施設整備事業	118	観光推進課
62	空き店舗活用事業	122	商工労政課
63	商店街機能強化事業	123	商工労政課
64	駐車場運営事業	124	商工労政課
65	中小企業融資制度活用事業	125	商工労政課
66	中心市街地活性化事業	126	商工労政課
67	融資制度等利用事業	129	商工労政課
68	企業誘致推進事業	131	商工労政課
69	雇用創造のための推進事業	133	商工労政課
70	高年齢者就業機会確保事業	134	商工労政課
71	勤労者福祉の推進	136	商工労政課
72	勤労青少年ホーム運営事業	137	商工労政課
73	職業能力開発の推進	138	商工労政課

No.	事業名	計画番号	所管部署
74	道路の整備	16	土木課
75	林道の維持管理	107	土木課
76	公園遊具の安全点検	6	都市整備建築課
77	市民参加による緑化の推進	7	都市整備建築課
78	下水道の整備	9	管理課
79	上水道第7次拡張事業	8	水道課
80	小学校教育用コンピュータ等の整備事業	39	教育総務課
81	特別支援教育支援員の配置	42	教育総務課
82	計画訪問・要請訪問の実施	35	指導課
83	アシスタントティーチャー派遣事業	44	指導課
84	教育相談事業の推進	48	指導課
85	外国青年招致事業	150	指導課
86	国際教育支援員事業	151	指導課
87	学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業(家庭の支援活動)	20	スポーツ・生涯学習課
88	学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業(放課後子ども教室)	21	スポーツ・生涯学習課
89	子ども会ジュニアリーダーの育成	24	スポーツ・生涯学習課
90	ふるさと出前きらめき講座	25	スポーツ・生涯学習課
91	稲生塾	26	スポーツ・生涯学習課
92	北里大学公開講座	27	スポーツ・生涯学習課
93	生涯学習推進人材活用事業	34	スポーツ・生涯学習課
94	市民文化祭支援、文化団体への補助金交付	50	スポーツ・生涯学習課
95	芸術文化鑑賞機会の提供	51	スポーツ・生涯学習課
96	伝統芸能まつりの実施	52	スポーツ・生涯学習課
97	郷土館事業の充実	54	スポーツ・生涯学習課
98	十和田湖民俗資料館事業の充実	55	スポーツ・生涯学習課
99	とわだ駒街道マラソン大会	56	スポーツ・生涯学習課
100	スポーツいきいき健康づくり事業	57	スポーツ・生涯学習課
101	小学生交流事業の充実	149	スポーツ・生涯学習課
102	十和田市寿大学	28	スポーツ・生涯学習課
103	十和田市民大学講座	29	スポーツ・生涯学習課
104	地域活動の推進	23	南公民館
105	ビオトープ事業活動支援	22	東公民館
106	公民館講座の推進	33	十和田湖公民館